



2017年3月期 補足説明資料

株式会社 F F R I (東証マザーズ : 3692)
<http://www.ffri.jp>



会社概要



会社概要

会社名： 株式会社 F F R I (FFRI, Inc.)
所在地： 東京都渋谷区恵比寿1-18-18 東急不動産恵比寿ビル4階
役員： 代表取締役社長 鵜飼 裕司
取締役最高技術責任者 金居 良治
取締役最高財務責任者 田中 重樹
社外取締役（監査等委員） 下吹越 一孝
社外取締役（監査等委員） 高橋 郁夫
社外取締役（監査等委員） 松本 勉

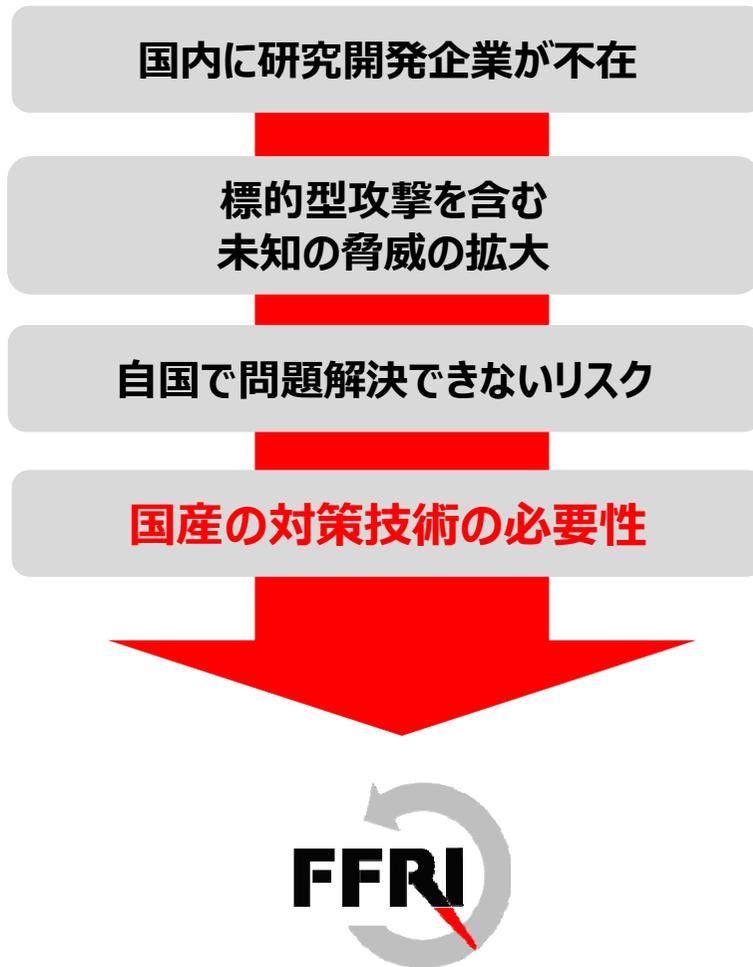
設立： 2007年7月3日

資本金： 283,038,100円（2017年4月30日現在）

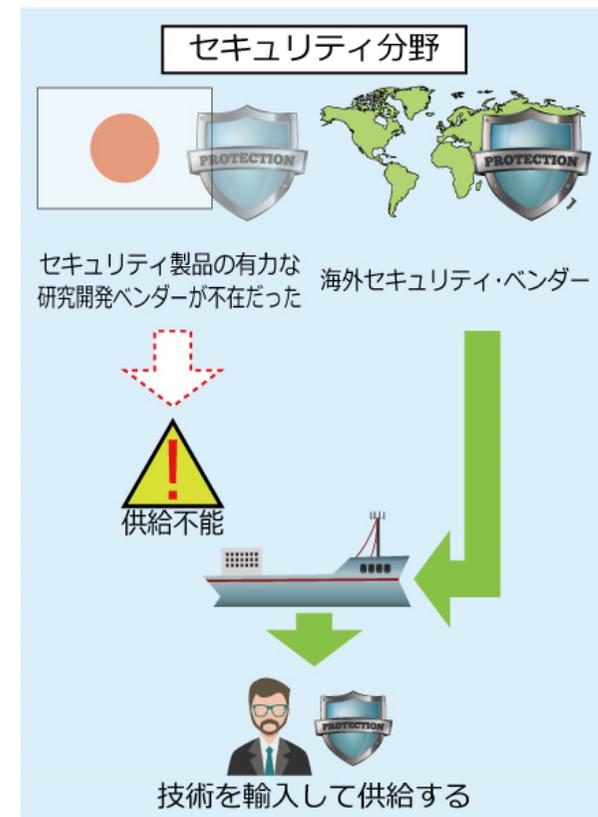
- 事業内容：
1. コンピュータセキュリティ研究、コンサルティング
 2. ネットワークシステムの研究、コンサルティング、情報提供、教育
 3. コンピュータソフトウェア及びコンピュータプログラムの企画、開発、販売、リース、保守、管理、運営及びこれらに関する著作権、出版権、特許権、実用新案権、商標権、意匠権等の財産権取得、譲渡、貸与及び管理
 4. 上記事業に関連する一切の業務

2014年9月30日 東証マザーズ上場

設立の経緯



□ これまで日本は対策技術を海外からの輸入に頼っていた





社名とコーポレートマークに込めた思い

- 「FFRI」は、「**F**ourteen**f**orty **R**esearch **I**nstitute」の略称
- 「1440」は、スノーボード・ハーフパイプ競技におけるジャンプの回転数に由来
- 設立当時、4回転ジャンプできる競技者が存在せず、前人未到の領域への挑戦を志し、「1440（360°×4回転）」を社名に採用

Fourteenforty Research Institute



FFRI

コーポレートマークにも「1440」の文字とスノーボードの回転をイメージした矢印で、設立当初から変わらない「未踏の分野への挑戦」を表現



コーポレートマーク

世界トップレベルのセキュリティ・リサーチ・チームを作り、
コンピュータ社会の健全な運営に寄与する



業績説明

業績サマリー

- 売上高：主力製品のFFRI yaraiの売上は前年同期比59.2%増、
 FFRI yarai analyzerで大口の国プロ案件により上振れ、
 個人向け製品の上乗せにより売上高は前年同期比55.1%増

(単位：百万円)

| 区分 | 2016/3 実績 | 2017/3 実績 | 前年 同期比 (%) |
|------------------|--------------|---------------|------------------|
| 売上高 | 948 | 1,471 | 55.1 |
| 営業利益 (利益率：%) | △343 (-) | 257 (17.5) | - |
| 経常利益 (利益率：%) | △343 (-) | 258 (17.6) | - |
| 当期純利益 (利益率：%) | △341 (-) | 271 (18.5) | - |

業績サマリー（売上の内訳）

（単位：百万円）

| 区分 | | 2016/3 実績 | 2017/3 実績 | 前年 同期比 (%) | |
|------------------|----|--------------|--------------|------------------|------|
| セキュリティ・ プロダクト | 法人 | 継続 売上 | 388 | 589 | 51.8 |
| | | 新規 売上 | 188 | 283 | 50.5 |
| | 個人 | 156 | 421 | 169.9 | |
| | 小計 | 733 | 1,294 | 76.5 | |
| セキュリティ・サービス | | 215 | 177 | △17.7 | |
| 合計 | | 948 | 1,471 | 55.1 | |

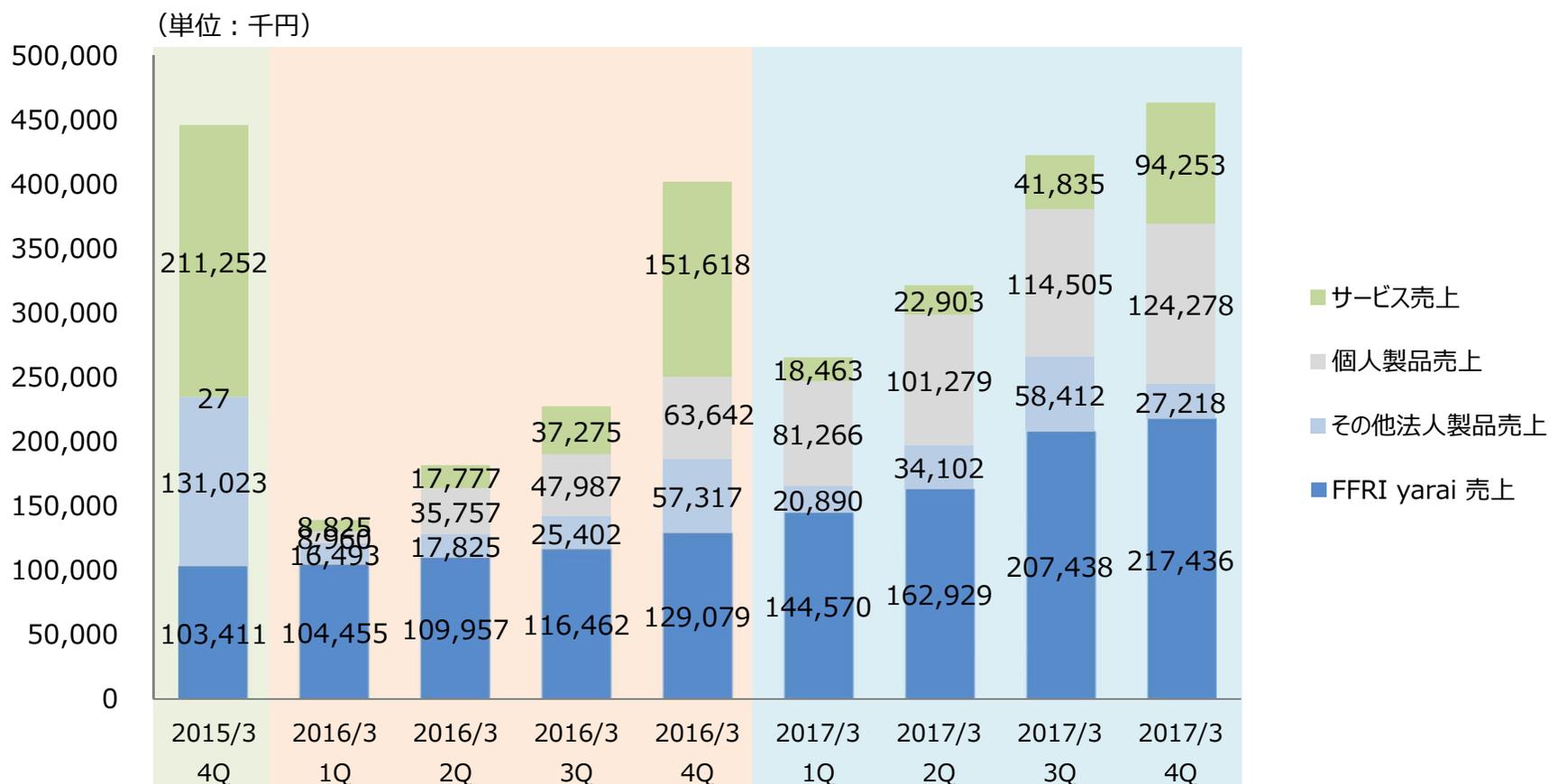
（注）継続売上について

当社の主な製品は、1年間利用可能なサブスクリプション契約が中心となっています。当社では前期以前に販売した既存契約から発生する売上及び既存契約が契約更新されることで発生する売上を継続売上として管理しております。

- 法人継続売上：前期までの積上げにより増加。
- 法人新規売上：FFRI yaraiの販売増加、FFRI yarai analyzerで大口の国プロ案件獲得により増加。
- 個人：主にAndroid端末向けのFFRI安心アプリチェッカーの販売増加。
- セキュリティ・サービス：人的リソースのセキュリティ・プロダクトへの振り向けにより受注抑制。

区分別四半期会計期間毎の売上推移

□ 売上計上の季節性は解消傾向



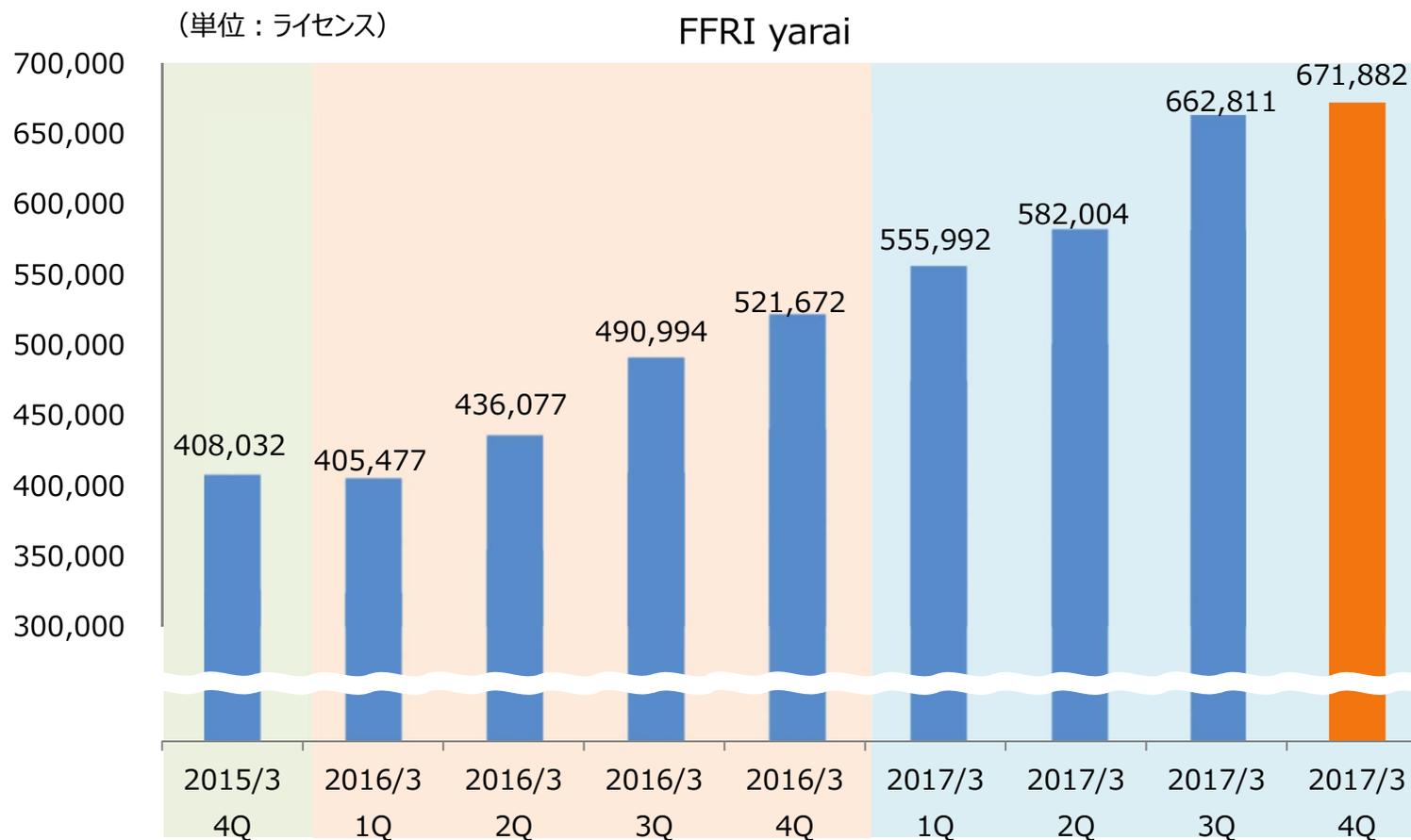
契約ライセンス数の推移 (FFRI yaraiシリーズ)

| 回次 | 契約ライセンス数 (ライセンス) | 売上単価(注1) (円) |
|--------|---------------------|-----------------|
| 2013/3 | 149,148 | 995 |
| 2014/3 | 315,837 | 713 |
| 2015/3 | 408,032 | 940 |
| 2016/3 | 521,672 | 1,016 |
| 2017/3 | 671,882 | 1,199 |

- (注) 1. 売上単価は、当社の1ライセンスあたりの売上高に当たる金額です。
2. ボリュームディスカウントの価格体系を採用していることから、製品単価は大口案件の発生状況に影響されます。



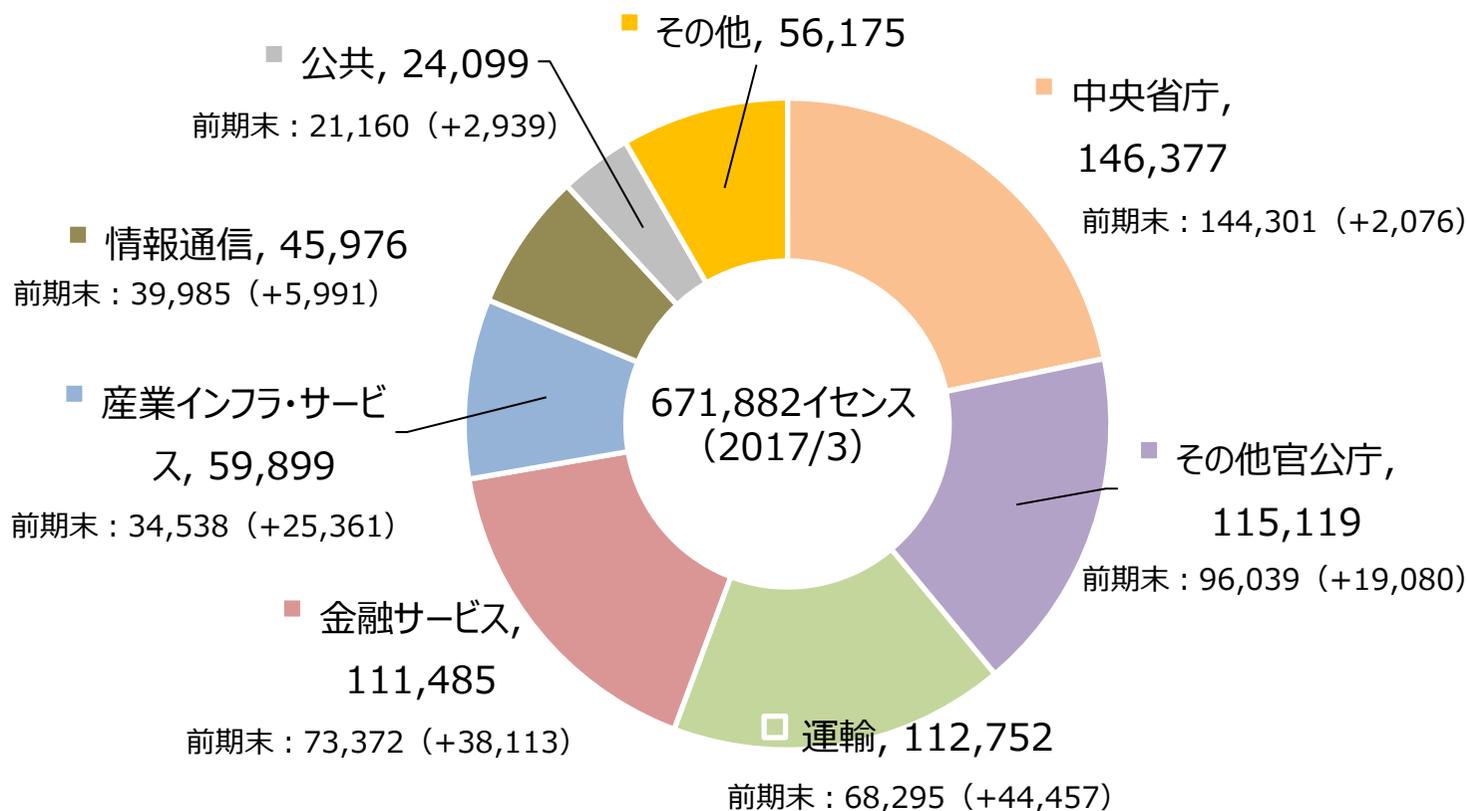
四半期毎の契約ライセンス数推移





業種別契約ライセンス数

重要インフラ指定業種でFFRI yaraiの導入が進む



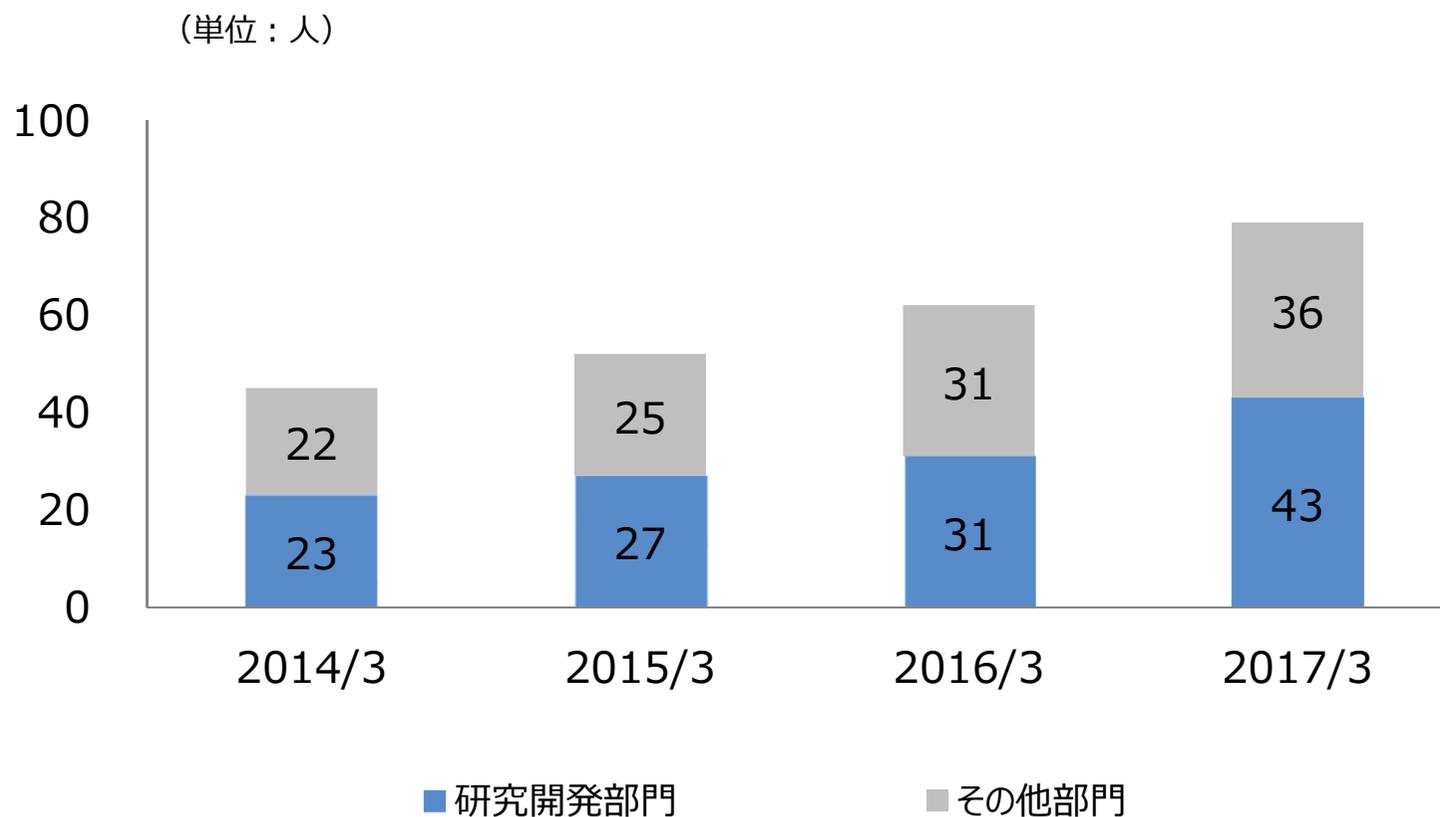
原価及び販管費の内訳

(単位：百万円)

| 費用の種類 | 2016/3 | 2017/3 | 前年同期比 (%) |
|--------------------|--------------|--------------|--------------|
| 労務費 | 200 | 217 | 8.5 |
| 経費 | 79 | 101 | 26.8 |
| 期首・期末棚卸及び 他勘定振替 | △123 | △112 | — |
| 研究開発費への振替 | 75 | 104 | 38.7 |
| ソフトウェアへの振替 | 34 | 5 | △85.3 |
| その他の振替 | 13 | 1 | △92.3 |
| 売上原価合計 | 156 | 206 | 31.9 |
| 人件費 | 281 | 307 | 9.4 |
| 広告宣伝費 | 483 | 29 | △93.9 |
| 研究開発費 | 75 | 106 | 41.0 |
| 販売手数料 | 116 | 328 | 182.7 |
| その他 | 180 | 236 | 31.2 |
| 販管費合計 | 1,135 | 1,007 | △11.3 |

- 研究開発費：IoT、車載セキュリティ等を中心とした研究活動の増加。
- 広告宣伝費：Web媒体を中心に法人向け製品の広告宣伝を実施。
- 販売手数料：主に個人向け製品の販売に係る手数料。個人向け売上増加に伴い販売手数料も増加。
(個人向け売上に連動)
- その他：人員採用に伴う採用費が増加。

人員数の推移



業績サマリー（貸借対照表）

（単位：百万円）

| 区分 | 2016/3 | 2017/3 | 前年同期比 (%) |
|---------|--------|--------|--------------|
| 流動資産 | 951 | 1,961 | 106.1 |
| 現金及び預金 | 692 | 1,754 | 153.5 |
| 売掛金 | 168 | 131 | △22.2 |
| 固定資産 | 128 | 94 | △26.5 |
| 資産合計 | 1,079 | 2,055 | 90.4 |
| 流動負債 | 381 | 751 | 96.7 |
| 前受収益 | 320 | 550 | 72.0 |
| 固定負債 | 119 | 423 | 253.6 |
| 長期前受収益 | 108 | 412 | 280.0 |
| 負債合計 | 501 | 1,174 | 134.2 |
| 株主資本 | 578 | 880 | 52.3 |
| 利益剰余金 | 71 | 343 | 379.3 |
| 純資産合計 | 578 | 880 | 52.3 |
| 負債純資産合計 | 1,079 | 2,055 | 90.4 |

- 現金及び預金：主に製品の受注に伴う代金受領により増加。
- 前受収益、長期前受収益：製品の受注の増加に伴う代金受領により増加。

業績サマリー (C/F)

(単位：百万円)

| 区分 | 2016/3 | 2017/3 | 前年同期比 (%) |
|----------------------|--------|--------|-----------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △317 | 1,047 | - |
| (内訳) 税引前当期純利益 | △343 | 257 | - |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 116 | 37 | △68.0 |
| 前受収益の増減額 (△は減少) | 73 | 230 | 215.3 |
| 長期前受収益の増減額 (△は減少) | △55 | 303 | - |
| その他 | △107 | 218 | - |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △49 | △16 | - |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 26 | 31 | 16.0 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | △340 | 1,062 | - |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,032 | 692 | △33.0 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 692 | 1,754 | 153.5 |

- 前受収益の増減額：主に製品の受注の増加に伴う代金受領により増加。
- 長期前受収益の増減額：官公庁を中心にFFRI yaraiの複数年契約が増加。



次期の取組み

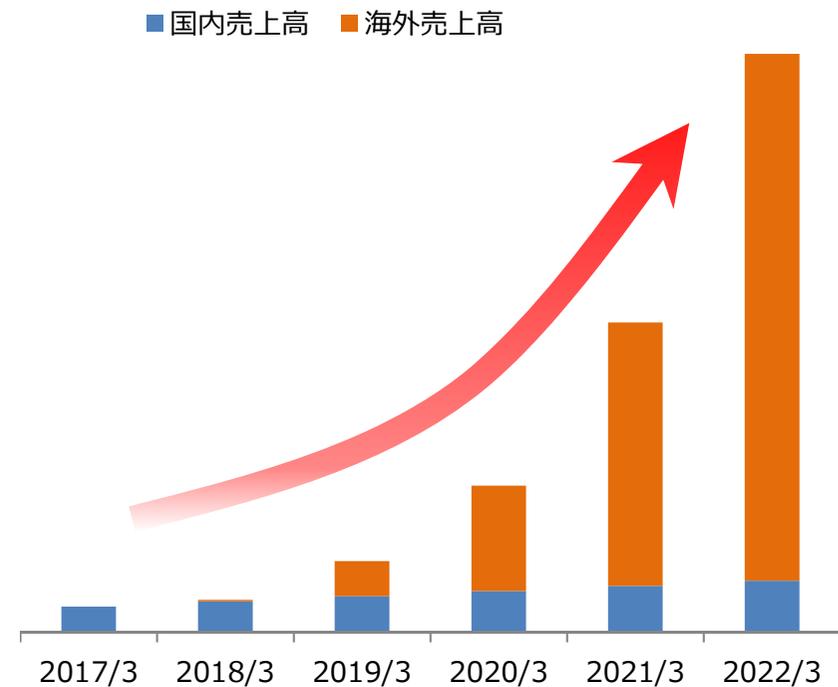
2018年3月期の取組方針

| | |
|--|---|
| <p>法人向け製品 の拡販</p> | <p>サイバー脅威の拡大を背景に未知脅威対策に対するニーズが拡大 首都圏及び首都圏以外に所在する企業へも営業強化</p> |
| <p>FFRI yarai の海外市場での拡販</p> | <p>北米に初の連結子会社となる FFRI North America, Inc.を設立 国内と同様にハイタッチセールスと販売パートナーセールスによる拡販</p> |
| <p>個人向け製品 の拡販</p> | <p>中長期的な販売拡大のための個人向け製品販売ビジネスの再構築を 実施</p> |
| <p>新しいセキュリティ領域 の研究開発</p> | <p>車載セキュリティの研究開発 その他IoT分野における新たな脅威研究</p> |

中期展望

□ 北米に続いて欧州・アジアへ展開を目指す

□ 5年を目処に海外売上高を国内売上高の10倍の規模に育てる



業績予想

(単位：百万円)

| 区分 | 2017/3実績 (単体) | 2018/3計画 (連結) | 前年同期比 (%) |
|------------------|------------------|------------------|--------------|
| 売上高 | 1,471 | 1,765 | 20.0 |
| 営業利益 (利益率：%) | 257 (17.5) | 280 (15.9) | 8.9 |
| 経常利益 (利益率：%) | 258 (17.6) | 280 (15.9) | 8.5 |
| 当期純利益 (利益率：%) | 271 (18.5) | 234 (13.3) | △13.7 |

(注) 当社は、2017年4月3日に初めての連結子会社となるFFRI North America, Inc. を設立しております。
このため、2017/3実績は単体の業績数値、2018/3計画（連結）は連結の業績数値を記載しております。

業績予想（売上の内訳）

（単位：百万円）

| 区分 | | | 2017/3 実績 (単体) | 2018/3 計画 (連結) | 前年同期比 (%) |
|----|----|------|----------------------|----------------------|--------------|
| 国内 | 法人 | 製品 | 873 | 1,189 | 36.2 |
| | | サービス | 177 | 180 | 1.7 |
| | 個人 | | 421 | 310 | △26.4 |
| | 小計 | | 1,471 | 1,679 | 14.1 |
| 海外 | 法人 | 製品 | — | 85 | — |
| 合計 | | | 1,471 | 1,765 | 20.0 |

- (注) 1. 当社は、2017年4月3日に初めての連結子会社となるFFRI North America, Inc. を設立しております。このため、2017/3実績は単体の業績数値、2018/3計画（連結）は連結の業績数値を記載しております。
2. 2018/3より海外販売を開始したため区分を変更し、国内及び海外に分けて記載しております。

<本資料の取り扱いについて>

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済動向及び市場環境や弊社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動する可能性があります。

従いまして、実際の業績が本資料に記載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや不確実性がありますことを、予めご了承ください。